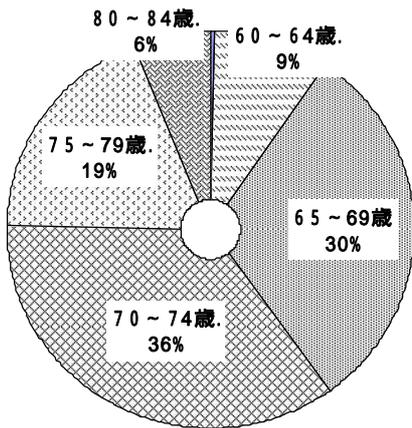


回答者の年齢層調べ



(前頁から続く) 会員の年齢構成は、65歳以上が86.8%、65歳未満が9.1%（無回答4.1%）となっており、グループわの社会貢献意欲の旺盛な高齢者パワーは、頼もしい存在である。

ただ今回の調査で、会員の半数近くの方がアンケートに参加しただけでなかったのは、ボランティア目的で連携するわとしては意外であった。意識調査のサンプル数が全体の2分の1というのは、結果的にやや説得力に欠けるのではないかと懸念される。

以上アンケート調査の途中集計を概観し、取りあえずの中間報告とします。

なお、この調査結果を検討する「ソーシャルキャピタル 協働政策研究会」のメンバーは、市側から、市民企画推進局、保健福祉局、都市計画総局、消防局、区役所（東灘・長田・垂水）などでそれぞれ地域活力の向上・支援を担当する課長・主幹、民学産の分野から、北須磨団地自治会・六甲アイランドCITY自治会の各代表、神戸大学ヒューマン・コミュニティー創成研究センター伊藤教授、津田助教授、企業代表、NPO代表(わ)アドバイザーとして同志社大学社会学部の立木教授、柴内助教授、事務局((財)神戸都市問題研究所)など多彩な人材で構成されています。特に行政関係者は、それぞれがこのアンケートの分析の行方に「今後の施策のあり方」との関係で大きな関心を寄せています。このアンケートのデータは、各区ごとに動向を分析する必要があると思っておりますが、結果が纏まるまでにはかなりの時間がかかる見込みです。

2007年の年頭に想う

活力あるグループわを目指して徐々に前進

理事長 郷 肥三



グループわの会員の皆様並びにご家族の皆様におかれましては、新しい年をつつがなくお迎えのことと謹んでお喜び申し上げます。

日頃はグループわのために活動と共に運営にはご理解とご協力を賜り、役員を代表し深く感謝いたしております。

今年は神戸市シルバーカレッジ社会還元センターグループ“わ”が1997年7月22日に発足して10周年を迎える年であります。またNPO法人格を取得して3年目になり、神戸市役所はじめ各団体における認知度も徐々に盛り上がりつつあります。

このことはひとえに会員の皆様方一人ひとりの活躍が結晶したものであり、今後とも継続していくことが大切なことと考えておりますので会員各位のさらなるご協力をお願い申し上げます。

昨年5月 納前理事長からバトンを受けて“活力あるグループわ”を目指して運営してまいりましたが、このようなテーマは一朝一夕になるものではありません。しかし徐々にではありますが前進していると自負しております。

昨年の総会以降の主な行事等と今後の予定について述べてみます。

こうべ環境未来館

同未来館の管理運営の委託業務は環境局職員のご指導と会員担当者の協力を得て、継続して実施しており、本年3月で契約が完了します。今後は新たに公募に応募して引き続いて受託できるように努力する所存であります。

神戸市こども家庭センター

同センターから受託しております児童虐待夜間休日相談ダイヤルは2年目に入り、センター職員皆様のご指導と会員担当者の協力を得て継続して行っております。

ローグパレー平和合唱団

合唱団の歓迎交流会が昨年8月、神戸市シルバーカレッジホールで開催され、現役の国際交流・協力コースの

学生と国際部会並びに環境部会の会員の協力を得て行われました。

のじぎく兵庫国体並びに

のじぎく兵庫大会

昨年10月、総合運動公園前のふれあい広場で開催され、わからも延べ約200名の方がボランティアに参加され、盛会裡に終了することができました。

シルバーカレッジ

11期3年生への新規加入

グループわ及び同窓会の説明会が、一昨年からシルバーカレッジ事務局のご好意により行なわれており、昨年12月12日(火)に、3年生の授業の中で実施しました。本年2月に入会手続きをしていただく予定をしています。

因みに昨年の10期生の方は、12月末現在194名の方が入会しておられます。

第2回各区対抗ふれあい

グラウンドゴルフ大会

今後の予定ですが、4月10日(火)に開催する予定にしていますので、全区会から代表選手が参加していただき、大いに盛り上がり技を競っていただきたい。

本年度の定期総会

5月15日(火)を予定していますので、会員の皆様におかれましては万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願いいたします。

終わりにあたり、人との関わり、すなわち心と心のつながりを求めて活動を広げて行きたいと考えております。会員の皆様をはじめご家族の方がこの一年間健康ですこやかに過ごされることをお祈りしています。